

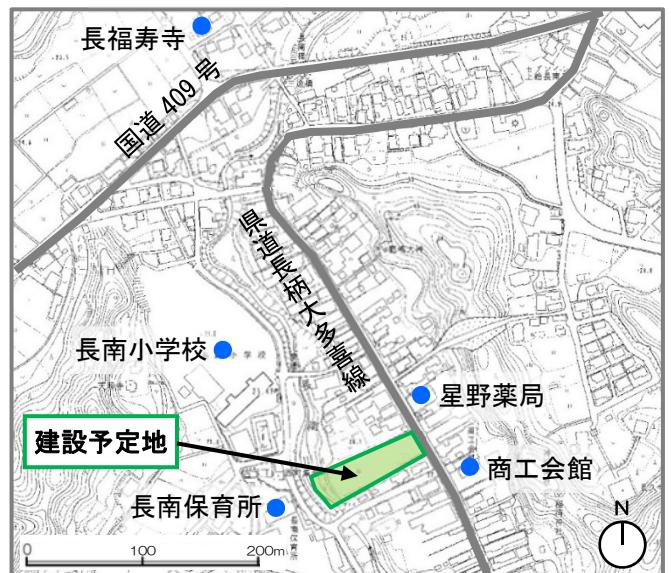
■ 導入機能・施設 ■

役割	導入機能	導入施設 (○: 建物内・△: 建物外)
ミュージアム	展示機能	○展示室・ミニシアター
	収蔵機能	○収蔵庫
	研修・講座機能	○講座室
まちづくりセンター	会議・打合せ機能	○まちづくり活動スペース
	情報発信機能	○情報コーナー △総合案内板
交流と憩いの場	休憩・イベント実施機能	○多目的室 △広場
	物販機能	△マルシェ(直売所)
	飲食機能	○カフェ・レストラン
その他	管理・運営機能	○事務室、公衆トイレ △駐車場、駐輪場等

※東京家政大学との積極的な交流を図るための、記念館もしくは長南小学校跡地における宿泊機能・施設の導入については、基本計画以降、長南小学校跡地活用を検討している「長南町立小学校跡地活用検討委員会」と整合を図りながら、検討を行う。

■ 建設予定地 ■

(仮称) 渡邊辰五郎記念館の建設予定地は、旧長南宿の中央（仲宿）に位置し、県道長柄大多喜線に面する渡邊辰五郎出生地跡である。



《所在 地》千葉県長生郡長南町長南
2550-1~3, 2551

《敷地面積》2,742.04 m² (公簿上)



建設予定地写真

■ 今後のスケジュール ■

平成 29 年度においては、平成 28 年度に策定した（仮称）渡邊辰五郎記念館基本構想で取りまとめた内容を基に、施設整備や活動について具体的に検討し、基本計画を策定する。

（仮称）渡邊辰五郎記念館基本構想 概要版 平成 29 年 3 月発行
長南町教育委員会 生涯学習課 TEL/FAX：0475-46-1194 (直通)

(仮称) 渡邊辰五郎記念館 基本構想概要版

■ (仮称) 渡邊辰五郎記念館基本構想策定の経緯 ■

長南町は、都心から 60 km 圏内にあり交通の利便性や豊かな自然、質の高い農産物、豊富な歴史遺産や観光資源など、多くの魅力を内包した地域であるが、過疎地域市町村に指定され、高齢化や少子化の進展は避けられず、町の活性化が課題となっている。

町では、「長南町第 4 次総合計画」において、「自然が誇り 住むことが誇り 元気な町 長南」を将来像として掲げ、その実現に向け様々な施策を展開しているところである。その一環として、「長南町都市計画マスタープラン (H26.3 改訂)」の中で、まちづくりの基本理念として「環境共生のまちぐるみ博物館 長南～人と自然が協奏するエコ・ミュージアムづくり～」を掲げている。

また、「長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、基本目標の一つ「地方への新しいひとの流れをつくる」副題として、「～自然環境と資源を活用した魅力あふれる長南づくり～」を掲げている。

町の魅力を高め、新しい人の流れを創り、町の活性化に繋げるためには、拠点を整備していくことが必要である。そのため、町の中心部である長南宿の活性化の拠点として、東京家政大学の創立者である郷土の偉人渡邊辰五郎の記念館基本構想を、東京家政大学と連携を図りながら策定した。

■ 渡邊辰五郎～仕立職人から近代女子教育のパイオニアへ～ ■



渡邊辰五郎

渡邊辰五郎は弘化元（1844）年、長南の仲宿に生まれ、15 歳で江戸の仕立屋に奉公して修練を積みます。明治元（1868）年に長南で仕立屋を開業し、仕事の合間には近くの子女に裁縫を教えていました。明治 6 年に開校した長南小学校は、当時就学率が低かった女子を学校に通わせるため、辰五郎を裁縫教員として迎えました。しかし、従来の裁縫手習いと近代的な学校教育の授業は全く異なっており、辰五郎は工夫を重ねて教科書やひな形を使用した学習法などを考案し、近代的な裁縫教育の基礎を創りあげました。本格的に教育者の道を歩み始めた辰五郎は明治 14 年、東京で和洋裁縫伝習所（現・東京家政大学）を創立し、同 19 年には共立女子職業学校（現・共立女子大学）の創立にも参画して、新しい時代に生きる女性の教育に、生涯を通して情熱を注ぎました。

～基本理念～

渡邊辰五郎の「創造性」を規範として、大学と連携した地域活性化の拠点とする。

基本コンセプト

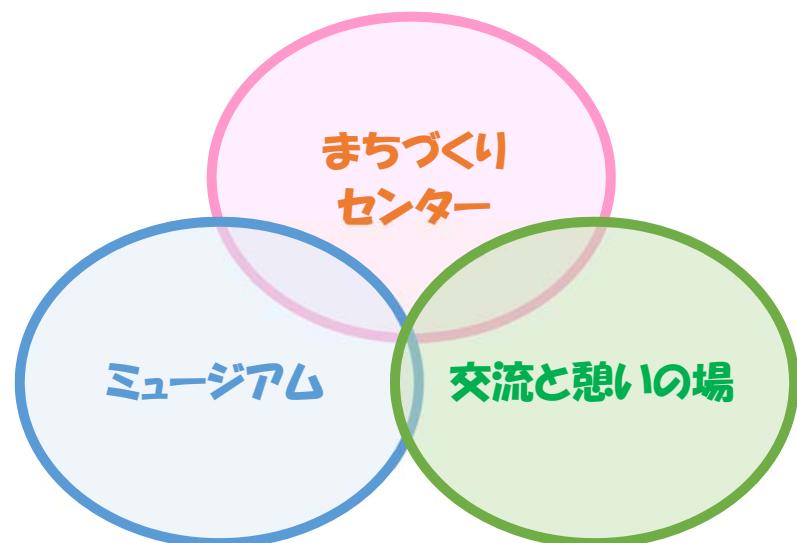
本施設は、渡邊辰五郎の「創造性」を主題としたミュージアムであり、ミュージアムが「地域と連携するフィールド」であることを積極的に活用するまちづくりの拠点・文化創造の拠点として位置付ける。

創立者が本町出身ということで交流がある東京家政大学と連携し、その専門性を地域のまちづくりに活用させるためのコーディネーターとしての役割を担う。

地域住民による創造的なまちづくりを支援することで、ローカルイノベーションが生まれる土壤を育成する役割を担う。

辰五郎を生んだ「旧長南宿」と一体となったフィールドミュージアムの核として、宿場町の風情を残す町並みを観光・学習資源として活用する誘発剤としての役割も担う。

記念館の役割



「ミュージアム」、「まちづくりセンター」、「交流と憩いの場」という3つの役割が互いに連携し、互いの役割を引き立たせる記念館を目指します。

記念館づくりの基本的な方針

ミュージアム

渡邊辰五郎及びまちの文化・歴史の継承と創出、及び地域の魅力を情報発信する。

- 常設展示
 - ・辰五郎が生まれ育った町・長南の紹介
 - ・裁縫技術を近代教育の中に活かした辰五郎の「創意と工夫」の伝承
- 企画展示
 - ・積極的に東京家政大学との連携や地域住民の参画を図る
- 講座開設
 - ・東京家政大学の専門性を取り込んだ教養講座
- 情報発信
 - ・長南町と渡邊辰五郎に関する情報発信

まちづくりセンター

地域と大学が連携したまちづくり活動の拠点とする。

- 地域住民が参画するまちづくり
 - ・町民参加により長南宿のテーマやシンボルについて検討した上で共通認識をもち、広域的な観光資源と連携し散策路を整備
 - ・東京家政大学の人材・ノウハウを仲介する窓口
 - ・チ・ハレの定期開催、移住促進のための情報提供
 - ・地元の伝統工芸などに基づくものづくり
 - ・まちづくりの担い手育成支援
 - ・子育て世代の居場所・雇用支援

交流と憩いの場

町外・町内の人々が集い、憩う場とする。

- 園庭と散策路の玄関口の整備
 - ・誰でも自由に散策できる園庭の整備
- 「おかあさん」のおもてなし
 - ・東京家政大学、地元の「おかあさん」方と協働でメニューを考案し、併設のカフェ・レストランで料理を提供
 - ・名産品や農産物の販売
- 長南町と渡邊辰五郎を知るためのイベント等
 - ・記念館を拠点としたまちの祭り
 - ・渡邊辰五郎を感じるためのまちあるき